

令和6年度使用小学校用教科用図書

選定委員会審議結果報告書

令和5年8月

尾道市教科用図書選定委員会

国語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい国語	1・2・3・4・5・6
17	教出	ひろがる言葉	1・2・3・4・5・6
38	光村	国語	1・2・3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年の目標】

〔第1学年及び第2学年〕

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを感じるるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

〔第3学年及び第4学年〕

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

〔第5学年及び第6学年〕

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（国語）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	目標の具体性・わかりやすさを比較できる特徴 （例）同時期またはねらいが同じ単元の目標、目標の示し方
		② 言葉の特徴や使い方に関する事項	語彙を豊かにするための工夫を比較できる特徴 （例）新出漢字や重要語句の示し方、言語・漢字・文法の扱い方
		③ 情報の扱い方に関する事項	情報と情報の関係、情報の取り出し・整理等、情報の扱い方を学ぶ工夫を比較できる特徴 （例）比較や分類、引用の仕方や辞典の使い方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	身近な話題や社会の出来事を取り上げたり、自ら課題を発見したりするための工夫を比較できる特徴 （例）身近な話題や社会の出来事等の取扱い
		⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫	課題解決的な学習活動の設定の仕方を比較できる特徴 （例）課題設定や学習の進め方
		⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	見通しを持ったり振り返ったりするための手立てなどの工夫を比較できる特徴 （例）学習過程や評価の仕方の示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列	単元の配列の特色とその示し方の工夫を比較できる特徴 （例）目次をもとに、単元の配列、資料の配置等
		⑧ 伝統と文化に関する内容の記述	扱われている題材の特色を比較できる特徴 （例）昔話や短歌・俳句、古典の扱い方
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用	効果的なQRコンテンツ・図表等の掲載・文章と図表との関連について考えさせる工夫を比較できる特徴 （例）説明的文章（図表入り）における資料活用
		⑩ 巻頭の示し方	巻頭の教科の導入内容と示し方の工夫を比較できる特徴 （例）巻頭に示された「学び方」等
(オ)	言語活動の充実	⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	考えを伝え合う活動が設定されている単元の工夫を比較できる特徴 （例）単元名、テーマ・議題、話し合いの形態等
		⑫ 学校図書館機能の利活用	図書館を利活用する活動の設定の特色を比較できる特徴 （例）読書に関する単元、文学・説明的文章の単元末の関連図書の紹介等

書写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい書写	1・2・3・4・5・6
17	教出	小学 書写	1・2・3・4・5・6
38	光村	書写	1・2・3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年の目標】

〔第1学年及び第2学年〕

ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

- (ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。
- (イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。
- (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。

〔第3学年及び第4学年〕

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

- (ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。
- (イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。
- (ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

〔第5学年及び第6学年〕

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

- (ア) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。
- (イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
- (ウ) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（書写）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	目標の具体性・わかりやすさを比較できる特徴 （例）同時期またはねらいが同じ単元の目標、目標の示し方
		②	姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や点画の書き方、用具の扱い方について理解を助ける工夫を比較できる特徴 （例）写真やイラスト等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	課題解決的な学習を実施するための工夫	課題設定や学習の進め方の特色を比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④	単元等の配列・分量	題材の配列の特色とその示し方の工夫を比較できる特徴
		⑤	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化としての文字の理解に関する内容の特色を比較できる特徴
(エ)	内容の表現・表記	⑥	配色、レイアウト等表現・表記の工夫	筆順、毛筆における穂先の動き、文字配置等の学習内容をわかりやすく示す工夫を比較できる特徴 （例）紙面構成・イラスト・写真・QRコンテンツ等
(オ)	言語活動の充実	⑦	学習や日常生活に生かす言語活動の工夫	書写で学ぶことを広く学習や日常生活で活用するための言語活動の設定の特色を比較できる特徴

社会

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新しい社会 3・4・5・6
17	教出	小学社会 3・4・5・6
116	日文	小学社会 3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【学年の目標】

〔第3学年〕

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

〔第4学年〕

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、

地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

〔第5学年〕

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

〔第6学年〕

- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（社会）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	目標の具体性・わかりやすさを比較できる特徴 (例) 学習内容ごとの学習課題の記載の仕方及び具体例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	歴史上の人物や事象、文化遺産、神話・伝承、歴史に見られる国際関係や文化交流等について、記述内容や具体例の取り上げ方の特色を比較できる特徴 (例) (第3学年) 地図帳の使い方の例 (第4学年) 47都道府県の学び方の例 (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例 (第6学年) 生活と政治のつながり・国の形成に関する考え方 (第6学年) 歴史上の人物の扱いと事例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	単元の導入における興味・関心を高めるための問いや資料の工夫を比較できる特徴
		④	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	学び方のポイントや学び方の具体例の示し方等、主体的に探究的な学習活動を行うための工夫を比較できる特徴 (例) 目標設定や問いの立て方、学習活動の示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元や資料等の配列、分量	単元の構成、補足的・発展的教材、地域事例の扱いの特色を比較できる特徴 (例) 巻頭ページの示し方や単元の構成
		⑥	現代的な諸課題の扱い	現代的な諸課題に関する内容や具体例の特色を比較できる特徴
(エ)	内容の表現・表記	⑦	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類や内容、イラスト・写真・QRコンテンツ等の活用の有効性等を比較できる特徴 (例) 同一単元の資料の種類や分かりやすさ
		⑧	本文以外の記述の工夫	脚注や側注等の内容の特色を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	調べたことや考えたことをレポートにまとめたり、発表したりする言語活動の設定の特色を比較できる特徴
		⑩	観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫	観察・調査や資料を活用して収集した情報をもと話し合う等、探究的な活動の設定の特色を比較できる特徴

地図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新しい地図帳
4 6	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【学年の目標】

〔第3学年〕

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

〔第4学年〕

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色，地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動，地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるように

する。

- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

〔第5学年〕

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

〔第6学年〕

- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（地図）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	地図の見方の記載やその内容のわかりやすさを比較できる特徴 （例）地図の見方の記載例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象、環境教育、国際理解等に関する学習への活用に向けた記載の特色を比較できる特徴 （例）国土の地理的環境や歴史的事象、世界の統計や日本と比較しているページの記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるような記載内容の工夫を比較できる特徴 （例）巻頭ページの示し方
		④	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	主体的・探究的な学習活動を助ける工夫を比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元や資料等の配列	内容の構成や配列の特色を比較できる特徴 （例）各単元における項目の示し方、見出しの分かりやすさや統計資料の充実等
(エ)	内容の表現・表記	⑥	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方の適切さや、イラスト・写真・QRコンテンツ等の活用の有効性を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑦	観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の例示等、地図を活用するための工夫を比較できる特徴 （例）自然や産業、世界遺産を示したページの充実
		⑧	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	調べたり考えたりしたことを表現する活動に活用できる特色を比較できる特徴

算数

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい算数	1・2・3・4・5・6
4	大日本	楽しい算数	1・2・3・4・5・6
1 1	学図	みんなと学ぶ	1・2・3・4・5・6
1 7	教出	小学算数	1・2・3・4・5・6
6 1	啓林館	わくわく算数	1・2・3・4・5・6
1 1 6	日文	小学算数	1・2・3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【算数科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学年の目標】

〔第1学年〕

- (1) 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。
- (3) 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

〔第2学年〕

- (1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方

や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。

- (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。

〔第3学年〕

- (1) 数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。
- (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。

〔第4学年〕

- (1) 小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

〔第5学年〕

- (1) 整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。

(3) 数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

〔第6学年〕

- (1) 分数の計算の意味，文字を用いた式，図形の意味，図形の体積，比例，度数分布を表す表などについて理解するとともに，分数の計算をしたり，図形を構成したり，図形の面積や体積を求めたり，表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や計算の意味に着目し，発展的に考察して問題を見いだすとともに，目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力，図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し，図形の性質や図形の計量について考察する力，伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し，変化や対応の特徴を見いだして，二つの数量の関係を表や式，グラフを用いて考察する力，身の回りの事象から設定した問題について，目的に応じてデータを収集し，データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い，それらを用いて問題解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（算数）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標を達成するための工夫	目標の具体性・わかりやすさや学習課題に対して示された解決の過程の示し方を比較できる特徴
		② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫	学び直しに関する記載例や学習内容の定着、既習事項の確認及び振り返りに関する扱い方の特色を比較できる特徴
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活における問題場面を取り上げたり、自ら課題を発見したりするための工夫を比較できる特徴 （例）単元の初めや巻頭における課題の提示の工夫
		④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	問いを立てて解決のための道筋を見通したり活動の振り返りを行ったりするための工夫を比較できる特徴 （例）目標設定や問いの立て方、学習活動の示し方
		⑤ 具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫	日常生活の場で活用できる学びの工夫を比較できる特徴 （例）生活場面と結び付ける効果的な内容
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	児童の理解の実態に則した各単元の内容構成や配列、巻末問題の特色、分量を比較できる特徴
		⑦ 中学校との関連に関する内容の記述	中学校での学習につなげる工夫を比較できる特徴 （例）単元の終わりや巻末における発展的な学習に関する内容
(エ)	内容の表現・表記	⑧ イラスト・写真・吹き出し等の活用	イラスト等の児童の理解を助ける工夫を比較できる特徴 （例）効果的なイラストや写真、吹き出しの内容
(オ)	言語活動の充実	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫	学んだことを用いて説明したり、話し合ったりする課題の工夫を比較できる特徴 （例）児童が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題例
		⑩ 思考を深めるための記述の工夫	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えるための言語活動の工夫を比較できる特徴 （例）ノートやレポートの作成についての効果的な説明や記載例

理科

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい理科	3・4・5・6
4	大日本	楽しい理科	3・4・5・6
1 1	学図	みんなと学ぶ	3・4・5・6
1 7	教出	未来をひらく	3・4・5・6
2 6	信教	楽しい理科	3・4・5・6
6 1	啓林館	わくわく理科	3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【理科の目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

【学年の目標】

〔第3学年〕

(1) 物質・エネルギー

- ① 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。
- ③ 物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。

(2) 生命・地球

- ① 身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。
- ③ 身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

〔第4学年〕

(1) 物質・エネルギー

- ① 空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する

る基本的な技能を身に付けるようにする。

- ② 空気、水及び金属の性質，電流の働きについて追究する中で，主に既習の内容や生活経験を基に，根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。
- ③ 空気，水及び金属の性質，電流の働きについて追究する中で，主体的に問題解決しようとする態度を養う。

(2) 生命・地球

- ① 人の体のつくりと運動，動物の活動や植物の成長と環境との関わり，雨水の行方と地面の様子，気象現象，月や星についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 人の体のつくりと運動，動物の活動や植物の成長と環境との関わり，雨水の行方と地面の様子，気象現象，月や星について追究する中で，主に既習の内容や生活経験を基に，根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。
- ③ 人の体のつくりと運動，動物の活動や植物の成長と環境との関わり，雨水の行方と地面の様子，気象現象，月や星について追究する中で，生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

[第5学年]

(1) 物質・エネルギー

- ① 物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力について追究する中で，主に予想や仮説を基に，解決の方法を発想する力を養う。
- ③ 物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力について追究する中で，主体的に問題解決しようとする態度を養う。

(2) 生命・地球

- ① 生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について追究する中で，主に予想や仮説を基に，解決の方法を発想する力を養う。
- ③ 生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について追究する中で，生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

[第6学年]

(1) 物質・エネルギー

- ① 燃焼の仕組み，水溶液の性質，てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 燃焼の仕組み，水溶液の性質，てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で，主にそれらの仕組みや性質，規則性及び働きについて，より妥当な考えをつくりだす力を養う。
- ③ 燃焼の仕組み，水溶液の性質，てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で，主体的に問題解決しようとする態度を養う。

(2) 生命・地球

- ① 生物の体のつくりと働き，生物と環境との関わり，土地のつくりと変化，月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

- ② 生物の体のつくりと働き，生物と環境との関わり，土地のつくりと変化，月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で，主にそれらの働きや関わり，変化及び関係について，より妥当な考えをつくりだす力を養う。
- ③ 生物の体のつくりと働き，生物と環境との関わり，土地のつくりと変化，月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で，生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（理科）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標とまとめの示し方 目標の具体性・わかりやすさを比較できる特徴 (例) 同一単元の目標とまとめの示し方
		②	知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫 知識や概念を定着させるためのまとめや理解を深めるための資料の工夫を比較できる特徴 (例) 単元末のまとめ
		③	観察・実験の技能を習得させるための工夫 観察や実験の内容、手順、補足事項及び観察、実験における安全確保についての的確さや分かりやすさを比較できる特徴
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫 身近な事象を取り上げたり、自ら課題を発見したりするような工夫を比較できる特徴 (例) 同一単元において、日常生活や社会との関連付けを図る具体例
		⑤	問題解決の力を育成するための工夫 問題解決の流れに沿った課題設定場面や考察場面の特色を比較できる特徴 (例) 目標設定や問いの立て方、学習活動の示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	単元や資料等の配列 単元の配列の特色とその示し方の工夫を比較できる特徴 (例) 目次
		⑦	社会の変化に伴う課題への対応 現代的な課題に関わる学習内容の特色を比較できる特徴 (例) 発展的な学習内容や単元末の活用場面
(エ)	内容の表現・表記	⑧	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫 写真、図、グラフ、表、QRコンテンツ等の有効性を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 結果の分析・解釈の視点の示し方等の工夫を比較できる特徴 (例) 同一単元における考察場面での具体例
		⑩	科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫 科学的な概念や、科学的な思考の手順を使って言語活動を行うための工夫を比較できる特徴 (例) 研究発表やレポートの書き方、話し合い方についての示し方

生活

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい生活	1・2
4	大日本	たのしいせいかつ	1・2
1 1	学図	みんなとまなぶ	1・2
1 7	教出	せいかつ	1・2
2 6	信教	せいかつ	1・2
3 8	光村	せいかつ	1・2
6 1	啓林館	わくわく せいかつ	1・2
		いきいき せいかつ	1・2

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【生活科の目標】

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

【学年の目標】

〔第1学年及び第2学年〕

- (1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
- (3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（生活）

	観点	視点	方法（例）	
(ア)	基礎・基本の定着	①	具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫	主体的な活動や体験の設定の特色を比較できる特徴
		②	自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつための工夫	地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわるための工夫を比較できる特徴
		③	自分自身や自分の生活について考えるための工夫	自分自身や自分の生活について考えるための有効な工夫を比較できる特徴
		④	生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫	生活のきまりや安全についての学びが実生活で活かせるような工夫を比較できる特徴
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫	就学前教育や生活とのつながりをもたせるための工夫を比較できる特徴 (例)単元の導入ページの工夫
		⑥	振り返り表現する活動の工夫	課題解決的な学習や、見通しを立てたり、ふり返ったりする学習のためのワークシートの工夫を比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列及び分量	各単元の扱い方の特色を比較できる特徴 (例)単元名、スタートカリキュラムに関する内容
(エ)	内容の表現・表記	⑧	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	キャラクター・マークの工夫、イラストや写真、QRコンテンツ等の児童の理解を助ける工夫を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定	他者と交流するために伝え合う活動の特色を比較できる特徴

音楽

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
1 7	教出	小学音楽	1・2・3・4・5・6
2 7	教芸	小学生の音楽	1・2・3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年の目標】

〔第1学年及び第2学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

〔第3学年及び第4学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

〔第5学年及び第6学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（音楽）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材や学習目標等の示し方	目標の示し方と目標にかかわるポイントの示し方は具体的でわかりやすいものになっているかを比較できる特徴 (例) 題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		②	歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱教材の扱いの特色を比較できる特徴
		③	器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	器楽の教材の扱いの特色を比較できる特徴 (例) リコーダーの扱いの具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽づくりに関する学習過程等の示し方の工夫を比較できる特徴
		⑤	音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽を生活や文化と関連付ける工夫が効果的であるかを比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	我が国の音楽に関する内容の扱い	我が国の音楽に関する扱いの特色を比較できる特徴 (例) 学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
		⑦	題材や資料等の配列	領域ごとの題材の配列の特色と示し方の工夫を比較できる特徴 (例) 領域ごとにおける題材の構成、QRコンテンツ等を含む資料
(エ)	内容の表現・表記	⑧	〔共通事項〕の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の表し方の工夫を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の工夫を比較できる特徴

図画工作

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
9	開隆堂	図画工作 1・2・3・4・5・6
116	日文	図画工作 1・2・3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【図画工作科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年の目標】

〔第1学年及び第2学年〕

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

〔第3学年及び第4学年〕

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

〔第5学年及び第6学年〕

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するととも

に、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（図画工作）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材の目標・振り返りの示し方	目標・ふり返りの具体性・わかりやすさを比較できる特徴 （例）題材の目標・ふり返りの表記の仕方と具体例
		②	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	表現と鑑賞の共通事項に焦点をあてた学びの示し方の工夫を比較できる特徴
		③	材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	材料や用具の扱い方や安全確保などについての知識や技能を身に付けさせる工夫を比較できる特徴 （例）教材や用具の取扱い等の示し方、QRコンテンツ等の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	学習内容の表示の仕方及びマーク等の活用の仕方の有効性を比較できる特徴 （例）導入の文の示し方と具体例
		⑤	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の特色を比較できる特徴
		⑥	身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い	鑑賞の対象の特色や示し方の工夫を比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	題材や資料等の配列	題材や資料の分類・構成、配列の特色を比較できる特徴
(エ)	内容の表現・表記	⑧	作品等についての示し方の工夫	興味・関心を引き出すための作品掲載や造形活動の紹介、QRコンテンツ等の有効性を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	主体的な言語活動を促す工夫を比較できる特徴 （例）発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例

家庭

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい家庭	5・6
9	開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科	5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭，衣食住，消費や環境などについて，日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し，様々な解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなど，課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にする心情を育み，家族や地域の人々との関わりを考え，家族の一員として，生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（家庭）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材の目標の示し方	題材ごとの目標の具体性・わかりやすさを比較できる特徴
		②	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的な用語（キーワード等）の扱い、基本的な技能の習得のための記述の工夫等を比較できる特徴
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫	「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫を比較できる特徴
		④	学習した内容を家庭や地域で実践するための記述	生活の課題と実践の展開の示し方と実践例の特色を比較できる特徴
		⑤	実生活での活用に関する記述	学習した内容を実生活で活用するための活動の特色を比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	題材や資料等の配列	題材や学習内容の構成、配列の仕方の特色を比較できる特徴
		⑦	実践的・体験的な学習を実施するための工夫	体験的な学習の課題設定の特色、活動の手順や振り返り方法等の学び方の工夫を比較できる特徴（例）同一題材の具体例
		⑧	各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連させた学習の進め方の特色とその示し方の工夫を比較できる特徴
(エ)	内容の表現・表記	⑨	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	図・イラスト・写真・資料・QRコンテンツ等の有効性を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑩	言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	学んだことを生活に活かす方法を思考し表現する言語活動の工夫を比較できる特徴 （例）言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例等

保健

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新しい保健	3・4・5・6
4	大日本	楽しい保健	3・4・5・6
50	大修館	小学校保健	3・4・5・6
207	文教社	わたしたちの保健	3・4・5・6
208	光文	小学保健	3・4・5・6
224	学研	みんなの保健	3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

【学年の目標】

〔第1学年及び第2学年〕

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

〔第3学年及び第4学年〕

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

〔第5学年及び第6学年〕

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予

防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。

- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（保健）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	単元のねらいの具体性・わかりやすさを比較できる特徴 （例）同時期又は同じ単元の流れの示し方、一時間ごとの課題提示と学習内容の示し方の工夫等
		②	体育・健康に関する内容の記述	体育・健康に関する内容の扱い方の特色を比較できる特徴 （例）健康・安全に関する科学的な理解を図るための具体例等
		③	実習に関する記述	児童が体験する活動や体験に基づく資料の有効性を比較できる特徴
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元ごとの導入での学習の進め方の示し方や課題解決の過程の示し方、また単元末のふり返りの仕方等主体的な活動を導く工夫を比較できる特徴 （例）単元ごとの導入方法、まとめやふり返りの工夫等
		⑤	健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫	実生活・実社会につなげて自己の課題解決を考える学習の工夫を比較できる特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	単元や資料等の配列	単元における項目、資料等の配列の特色とその示し方の工夫を比較できる特徴
		⑦	発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の扱いと記載単元の特色を比較できる特徴 （例）単元末資料の工夫等
(エ)	内容の表現・表記	⑧	本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用	イラスト・写真・QRコンテンツ等の示し方、キャラクターやマーク等の有効性を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫	学んだことに照らして身近な健康について自分の考えをまとめて表現し交流する活動の工夫を比較できる特徴 （例）知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり、話し合ったりする活動の具体例の工夫等

英語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	NEW HORIZON	5・6
9	開隆堂	Junior Sunshine	5・6
1 5	三省堂	CROWN Jr.	5・6
1 7	教出	ONE WORLD Smiles	5・6
3 8	光村	Here We Go!	5・6
6 1	啓林館	Blue Sky elementary	5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【英語の目標】

〔第5学年及び第6学年〕

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

- ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

- ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
- イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
- ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
- イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（英語）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	単元の目標の示し方の具体性・わかりやすさを比較できる特徴
		②	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	領域統合型の言語活動の特色を比較できる特徴 （例）語彙や文法事項が効果的に、繰り返し扱われるなど、基礎・基本の定着を図る言語活動の設定等の工夫等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	特に「聞くこと」、「話すこと」の言語活動が主体的に行われるための工夫を比較できる特徴 （例）単元の導入における工夫
		④	単元等における振り返りの工夫	単元など学習内容のまとめりごとに児童自らが活動の軌跡と成果を振り返る工夫を比較できる特徴 （例）学習内容ごとのふり返りの設定の工夫及び具体例の提示等
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元の構成・配列の工夫	5領域の示し方、言語活動の構成・配列の特色を比較できる特徴 （例）単元における4技能5領域に関連した言語活動の工夫等
		⑥	知識・技能の活用を促す配列の工夫	習得した知識・技能を活用した言語活動の特色を比較できる特徴 （例）興味を持って取り組むことができる言語活動の段階的な導入の工夫等
(エ)	内容の表現・表記	⑦	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用	学習内容と関連した図・イラスト・写真・資料・QRコンテンツ等の有効性を比較できる特徴
		⑧	巻末資料、付録等の工夫	巻末資料や付録等の内容や語彙リストの特色を比較できる特徴 （例）巻末資料や付録等の内容及び提示の工夫等
(オ)	言語活動の充実	⑨	児童の身近な暮らしにかかわる場面設定の工夫	日常的な生活や学習の場面が取り上げられた単元の特色を比較できる特徴
		⑩	対話的な学びを促す言語活動の工夫	ペアワークやグループワーク等、自分の考えや気持ち等を伝え合う言語活動の特色を比較できる特徴

特別の教科 道徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名	
2	東書	新訂 新しい道徳	1・2・3・4・5・6
17	教出	小学道徳 はばたこう明日へ	1・2・3・4・5・6
38	光村	道徳 きみがいちばんひかるとき	1・2・3・4・5・6
116	日文	小学道徳 生きる力	1・2・3・4・5・6
208	光文	小学道徳 ゆたかな心	1・2・3・4・5・6
224	学研	新・みんなの道徳	1・2・3・4・5・6

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【特別の教科 道徳の目標】

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（道徳）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方	道徳的価値に迫るための学び方等の記載の特色について比較できる特徴（例）教科の目標の示し方、学びの視点の示し方、記載例の工夫、学びの手引き等
		②	発問の工夫	道徳的価値に迫る発問の内容や提示の仕方の特徴を比較できる特徴（例）発問の記載個所、記載例等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習における、教材、問題意識の持たせ方、課題設定等の特色を比較できる特徴
		④	体験的な学習を取り入れた工夫	自分の生き方や日常生活と関連させながら考えることができる学習の特色を比較できる特徴（例）キャリアを形成する力を育む教材、自己肯定感を高める教材の具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	分量や教材の数	内容構成や配列の特色（内容項目に偏りがいないか、重点をおいている内容項目はどれか）を比較できる特徴
		⑥	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	現代的な課題を自分の問題として解決に向けて考えさせる工夫を比較できる特徴（例）いじめの取り上げ方（SNSでのいじめ）情報モラル、主権者教育、郷土を愛する心、国際交流、防災教育、性の多様性等
(エ)	内容の表現・表記	⑦	巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末資料の示し方や内容の特色を比較できる特徴
		⑧	教材の内容を理解させる工夫	内容の理解を促すQRコンテンツやイラスト、写真等の有効性を比較できる特徴
(オ)	言語活動の充実	⑨	考えを伝え合う活動の工夫	「考え方を議論する」ための活動内容の特色や資料提示の工夫を比較できる特徴（例）自分の考えをもとに話し合うため工夫の具体例
		⑩	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	自分の考えをまとめる際や学習の振り返りをする際の視点等の工夫を比較できる特徴

令和6年度小学校使用教科書

選定委員会 審議報告書

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	国 語
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方</p> <p>○単元で身に付ける資質・能力を「言葉の力」として示すとともに、単元末では「振り返る」で学びを定着させるように工夫されている。一年間で学習する「言葉の力」をロードマップで示すことで各単元の学びのつながりを実感できるようにしている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○SDGsをはじめ、様々な現代的諸課題の中で、児童に主体的に思考させることのできる教材を取り上げている。また、特設コラムで未来を切り開いていく意義について各界の著名人のメッセージを掲載している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列</p> <p>・第2学年以上は、「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習を設定している。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用</p> <p>○児童が読みやすい分量の文章と写真や図が結び付けられており、内容を理解しやすくなっている。挿絵や学習の手引きの内容が、その教材を使って学ばせたいことに迫るものになっている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑪考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <p>・個人の考えや思いを発表する活動は全学年で、話し合う活動は3年生以上で系統的に展開している。QRコードでモデルとなる話し合い方を動画で視聴することができる。</p>
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方</p> <p>○学習のめあてとどのような言語活動を通じて学ぶのかを示し、目標とする力を身につけるためのポイントを短い文章で示すことで、どんな学習をして、どんな力が付くのか分かるように整理している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤課題解決的な学習を実施するための工夫</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉で学習の見通しをもち、「学習のてびき」「ふり返ろう」で学習を振り返るようにし、どんな学習をしてどんな力が付くのか児童が自覚しながら学習に取り組むよう設定している。 (ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑧伝統と文化に関する内容の記述 ・伝統的な言語文化として、古典芸能について短い文で紹介している。そして、狂言「山伏」を文と動画のQRコードを掲載している。 (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用 ○写真やグラフだけでなく、さまざまな資料を活用する学びが工夫されている。QRコードからNHK for schoolなどの動画を視聴できるようになっている。 (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫 ・低学年段階からの話し合い活動を展開している。高学年段階ではディベートやパネルディスカッションを活用し、児童の話し合い活動の充実が見られる。QRコードでモデルとなる話し合い方を動画で視聴することができる。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方 ○学習の流れを示したページに問いと目標を並べて示し、児童に問いを喚起し、目標へとつなげることができるように整理している。また、「たいせつ」が設定され、学習内容の要点を定着させる工夫がある。 (イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ・「知る」「読む・書く・話す聞く」「つなぐ」の3つの振り返りの視点を掲載している。 (ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列 ・目次にその単元の目標が記載されている。第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材〔練習〕を配置している。 (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用 ・文章だけでは分かりにくい事柄について、写真やグラフ等で説明している。 (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫 ・低学年段階から役割を意識したグループ討議が展開されている。QRコードでモデルとなる話し合い方を動画で視聴することができる。

種目ごとの審議結果

【総合所見欄について】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	書 写
発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方 ○最初の單元では、書きやすい姿勢(足・背すじ・手)を意識させるために、リズムカルな標語で色を使って分かりやすく示している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③課題解決的な学習を実施するための工夫 ・学習課題が設定しやすくなるように、比較したり拡大したりして分かりやすい表示が示されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤伝統と文化に関する内容の記述 ○様々な観点から「文字文化」に触れるページを複数取り入れ、児童の文字への興味関心を高め、学ぶ意欲を高める工夫をしている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑥配色、レイアウト等表現・表記の工夫 ・2学年～6学年に「書写のかぎ」が掲載されており、児童が学習事項のポイントを理解できるよう配慮されている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑦学習や日常生活に生きる言語活動の工夫 ・「学びを活かそう」コーナーで、1年間の学習をまとめとして日常生活や学校生活に役立つ教材を取り上げている。</p>
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元・題材の目標の示し方 ○「学習の始めと終わりに書こう」として試し書きとまとめ書きのコーナーを設けることで、自分の課題に気づき、成長を振り返ることができるようになっている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③課題解決的な学習を実施するための工夫 ・どの單元でも、「考えよう」として学習課題について考える視点が示されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ④単元等の配列・分量</p>

	<p>○理科のノート例を示し、学習内容が分かりやすいノートの書き方や色使いの工夫の仕方を示すなど、書写で習得した力を教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるようになっている。カリキュラムマネジメントにも配慮したものになっている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑥配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふり返ろう」が掲載されており、問いかけによって自己評価ができるようになっている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑦学習や日常生活に生かす言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かし手紙やはがきを書く活動を各学年で系統的に扱っている。
光 村	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方</p> <p>○最初の單元では、「タブレットを活用しよう」のページが掲載されており、QRコードの活用方法を写真や資料で示している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの單元でも、「考えよう」として考える視点や話し合う視点などが示されている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤伝統と文化に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化への理解を深めるために、文房四宝、文字の歴史などコラム等で提示している。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑥配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たいせつ」が掲載されており、児童が言語と図版によってポイントが理解できるよう配慮されている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑦学習や日常生活に生かす言語活動の工夫</p> <p>○日常生活の書く活動を教材として取り入れている。特に、6年生の「書写ブック」は、小学校の書写学習の総まとめになっており、学んだことを活用することに有効なものになっている。</p>

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	社 会
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方 ・1時間ごとに、学習問題が「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習過程が示されている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ○毎時間ごとに「まなびのポイント」を示し、課題解決のための具体的な視点を明確にしている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元や資料等の配列、分量 ・選択教材の数を絞り、視点を明確にした学習を進めることができるようにしている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑦本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ○QRコンテンツでは、見通しをもって学習が進められ、実感を伴った理解を促している。図や表を有効に活用するよう工夫されている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫 ○「つかむ→調べる→まとめる→いかす」といった探求の基本的な進め方を示している。キャラクターの台詞を目印としている。キャラクターをモデルとして、社会科の見方考え方を使って探究的に学んでいく方法がわかりやすく示されている。また、学習の成果の様々な表現方法を示している。</p>
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方 ・1時間ごとに、「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習過程のうち、本時ほどの過程であるかが示されている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ○毎時間ごとに「活動」の流れや「学びの手引き」を示し、児童に学習</p>

	<p>の見通しを立てやすくしている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元や資料等の配列、分量</p> <p>○選択教材を多く設け、児童の興味関心や、地域の実態に応じた学習を行うことができるようにしている。これらの教材はアクティブ・ラーニングで活用可能である。また、ジグソー法を活用し、学びの幅を広げようとしている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文以外の記述の工夫</p> <p>・「次につなげよう」コーナーでは、既習事項を次の課題につなげて考えさせる問いの文が用いられている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫</p> <p>・学習内容を観点ごとに図等を使って整理させるようにしている。</p>
日 文	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方</p> <p>・1時間ごとに、本時の問いを記載している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <p>・単元内に「見方・考え方」が示されており、単元内で付けさせたい力が明確化されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元や資料等の配列、分量</p> <p>○「未来につなげる わたしたちのSDGs」として、各単元ごとに内容とSDGsをつなげるページが設けられていて、歴史で学習したことが現代の生活とどうつながっており、どのように生かしていくのかが分かりやすくなっている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑦本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>○QRコンテンツでは、社会的な見方・考え方を働かせながら、見通しをもって学習が進められ、実感を伴った理解を促している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫</p> <p>・タブレット端末を使って発表する活動をきっかけに、学習を振り返って話し合う場面を取り上げている。そこから新たな課題を設定し、単元が展開していけるようにしている。</p>

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	社 会（地図）
-----	---------

発行者	総合的な所見
東 書	<p>（ア）第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳の使い方では、学習の案内役のキャラクターを活用し学んでいくという方法をとっている。 <p>（イ）第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭ページの世界地図と日本地図を示す際に、国ごとや都道府県ごとの特産物・動物・文化等を記載し、児童の学習意欲を高めている。「ホップステップマップでジャンプ」では、抜き出すことの面白さに触れることができ、興味関心を引き出すものになっている。 <p>（ウ）第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の統計資料を紹介する項目で、統計表に加えて「オリンピックとワールドカップ」と「世界の州とおもな海洋の広さ」について記載している。 <p>（エ）第4の観点 内容の表現・表記 ⑥学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本全図は、巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地域別に、有名なもの、日本とそのまわり、地形、気候、産業、交通、都市、歴史、文化、自然災害の項目ごとに示されている。平成26年8月豪雨の写真を掲載することで、災害の問題をより身近に考えることができるようになっている。 <p>（オ）第5の観点 言語活動の充実 ⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史とその当時の世界の情勢を関連付けながら調べることができるようになっている。歴史上、世界との関わりがあった出来事を当時の世界の勢力図を用いて、世界の歴史と日本の歴史をつなげ、地理的な視点で捉えられるようにしている。
帝 国	<p>（ア）第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図帳の使い方を問題解決的に掲載し、地図の見方では色分けをして示している。「地図帳の使い方」では、キャラクターを通して学びの視点を伝え、問題解決的に実際に地図を使いながら学んでいく

という方法をとっている。

(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫

○索引は、それぞれの項目を5色の色と、6種の記号で記されており、(世界は3色)支援が必要な児童にも使いやすいものになっている。また、索引を使いたくなるような仕掛けがされており、児童が主体的に学んでいこうとする姿勢を引き出すような工夫がされている。

(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元や資料等の配列

○世界の統計資料を紹介する項目で、統計表に加えて「日本の農水産物・資源の輸入先」について記載している。瀬戸内海周辺の地図が掲載されている。

(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑥学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

・日本全図については巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地方区分、有名なもの、日本の領土とそのまわり、地形、気温、自然災害、土地利用、産業、歴史、日本の世界遺産の項目ごとに示されている。

(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫

・地図と歴史を関連付けて調べることができるようになっている。地理的な視点で歴史を捉えることができ、特に明治元年と現在の土地利用の様子を比較して見るできるようになっている。

種目ごとの審議結果

【総合所見欄について】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	算 数
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標を達成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元初めに、児童同士の対話によって目標を設定するようになっている。また、学習の最後に、次の学習につながる疑問が示されており、今後の学習の見通しが持てるようになっている。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「今日のふかい学び」としてマイノートを学習に生かそうとまとめてあり、問題を解決していく自分の思考を振り返ることができるようにしている。また、その考えの視点も示している。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦中学校との関連に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元のまとめの後に「できるようになったこと」「次に考えてみたいこと」があり、その中で次の学年や中学校との関連が書かれている。また、全単元後に「卒業旅行」の中で中学校と関連のある内容に触れている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物の写真を使用し、実生活との関連を意識しやすくしている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「今日の深い学び」を設定し、学習過程とともに側注として「数学的な見方・考え方」など話し合い活動を進めるためのヒントが書かれている。それをもとに 説明の活動が展開できるようになっている。
大日本	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標を達成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近に感じる日常場面を取り上げて疑問を引き出し、めあてを設定している。学習の最後に振り返りの視点の記述があり、児童への支援となっている。

	<p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方をたしかめよう」の中で、学習したことを元に、新しい学習を進めていくことができるようになっている。大切な見方・考え方を振り返ることにより、自分で考え進めていくようになっている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦中学校との関連に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年のまとめの問題では、中学校と関わる内容については「中学への準備」と明記している。また、「数学の世界へ」の中で中学校と関連ある内容の問題を取り扱っている。さらに「中学校の数学ではこんなことを学ぶよ」もある。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真は、問題の意味を理解させるために身近なものを扱っている。また、具体物から抽象へと表現方法が段階的に提示されている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数の学び方」を設定し、学習の流れが示されている。考え方の図が示されている。また教科書の巻頭に「となりどうしで」「グループで」「クラスで」と場面に応じた話し合いの方法が示されている。
学 図	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○練習問題も単元末問題も充実している。単元末には、基礎問題、発展問題が設定されており、知識・技能の定着に有効。振り返りのページでは、その単元で大切な「見方・考え方」を改めて提示し、問題解決できるよう設定している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ノート名人になろう」は、尾道市における問題解決的学習の指導の形に沿ったものになっている。 「考えモンスターでふりかえろう」では、いろいろな図形の面積も求め方が分かる形に変えることで面積を求めていくことができるようにしている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末は基本的な内容の定着が図れるような補充問題と発展的な問題構成にしている。理解が困難な内容については単元を分割し、さらに指導学期を分けて定着が図れるようにしている。

	<p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用</p> <p>○単元の導入は、日常生活と関連する場面を設定し、イメージしやすいようなイラストで表示され、児童の興味・関心を促すようにされている。また、1時間の学習のまとめが分かりやすく示されている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫</p> <p>・「みんなと学ぼう 算数の学び方」という巻頭ページで「考えたいな」「表したいな」「知りたいな」「調べたいな」という学習の流れが示されており、それに沿って設問がある。</p>
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標を達成するための工夫</p> <p>・日常生活場面を取り上げ、めあてを設定している。学習の終末には、次の学習につながる疑問が示されており、今後の学習の見通しが持てるようになっている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>・「学習の手引」の中では、友だちのノートを見てみよう（友だちのノートの書き方のいいところを見つけよう）として、視点を明確にして自ら考え進めていくことができるようにしている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列</p> <p>・他教科や学校の活動と関連した題材を扱い、必要感を感じられるようにしている。複数単元・領域のまとまりごとにレディネス問題や復習問題を設定している。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用</p> <p>・作業的・体験的な活動の場面では、写真を用いて活動内容を想像しやすくしている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩思考を深めるための記述の工夫</p> <p>・「友だちのノートを見てみよう」では、ノートの書き方のポイントが例示されている。友達の考えからの気付きの記入例が例示されている。</p>
啓林館	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標を達成するための工夫</p> <p>○導入時に、児童にとって身近に感じる日常生活場面を示し、単元全体のめあてを設定し、興味を持って学習に向かわせるものになっている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④問題解決的な学習を実施するための工夫</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「台形の面積」の求め方について、3通りの異なるやり方を「分ける・2つに合わせる・変形」の言葉で示すことにより、考えの道筋が分かりやすくなっている。 (ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列 ・新しい演算を学習した後に、適切な演算を決定し根拠を説明する活用単元を構成している。巻中に学期末に取り組む復習問題、巻末に単元前に行う準備問題と復習問題を設置している。 (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用 ○操作活動では、写真を用いているので活動内容を想像しやすく、学習意欲を高めることができるようにしている。デジタルコンテンツには、見出しが付いており、アニメーションに加え、誤答の多い問題も扱われている。 (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫 ・「学習の進め方」を設定し、それに沿って設問がある。また、巻頭に「みんなで話し合おう」「算数で使いたい考えの進め方」が示されている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫 ・単元末には基礎的な問題とその単元の見方・考え方を使って解決する問題になっている。単元前には、その単元に関わる既習事項を扱うページが設定されており、スムーズに導入できるようになっている。 (イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④問題解決的な学習を実施するための工夫 ・「自分でみんなで」では、見方・考え方の中で、課題解決の流れを示し、学び合いの視点を示すことにより、どんな工夫をしているのか説明できるようにしている。 (ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦中学校との関連に関する内容の記述 ・第6学年のまとめの後の「マテマランドを探検しよう！」の中で中学校との内容の関連が触れている。「中学校へつながる学習」というマークが中学校と関連する内容を扱うときに付いている。 (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用 ・実物の写真を使用しているため、学びと日常生活とを関連させやすくしている。また、1時間の学習のまとめが分かりやすく示されている。

(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫

- ・「学び方ガイド」を設定し、説明し合うための学習過程が示されている。折り込みページに、考え方の視点が示されており、それを使って説明する活動が展開できるようになっている。

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	理 科
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関わっている人に注目して、実生活・実社会に関連付けられている内容のコーナーを掲載している。単元末問題で日常生活での現象を取り上げ、説明している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入部分において体験や観察、実験、既習事項や日常生活を想起することを通して、児童が学習内容や学習課題をつかみやすくする活動を取り入れている。実験や観察の後、話し合いながら科学的概念を理解していく展開になっている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元外の内容を取り上げた「理科の世界 探検部」のコーナーで現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容を扱っている。また、巻末の「理科とプログラミング」のページでプログラミング学習の内容を扱っている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真のサイズが大きく、理科の学習で大切な変化や特徴等を細かく観察することに有効なものになっている。観察や実験の際に自分で撮った写真や図、メモを使ったICTを活用した学習ができるようになっている。実際に使いやすいQRコンテンツになっている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の対話を例示している箇所がある。巻末に発表や話し合いの際の留意点を示している。結果をどのように表現するのか例示されている。単元ごとに分かったことが示しており、自分でまとめる際のヒントとなっている。また、その中に自分の言葉で説明する部分がある。
大日本	(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③観察・実験の技能を習得させる

	<p>ための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載はないがQRコードで示している。番号や図などで手順を示している。安全に配慮が必要なところに赤字で「注意」の記述をし、巻末に器具の使い方などを記している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤問題解決の力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習につながる知識・経験が、単元初めの活動によって、全児童に提供される学習の流れになっている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元外の内容を取り上げた「りかのたまてばこ」のコーナーで現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容を扱っている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字のサイズを大きくしたり、要点を強調したりして読みやすい工夫がされている。また、プログラミング学習と防災学習を関連付けた内容を扱っている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。結果をどのように表現するのか例示されている。単元ごとに自分の言葉で説明する部分がある。
学 図	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の事物・現象を写真や動画で示し、キャラクターの会話の気付きから問題を見出させている。育成すべき資質・能力を「理科モンスター」として明記している。学習内容の定着を図るための振り返りや単元でできるようになったことの例を示している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤問題解決の力を育成するための工夫</p> <p>○児童が自分で課題を立て、見通しを持って、学習過程において自己評価しながら活動していく工夫がある。課題解決に必要な力を表すキャラクターがおり、問題にアプローチする方法が示されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元外の内容を取り上げた「もっとしりたい」のコーナーで現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容を扱っている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真が明瞭で、特徴を見出しやすくしたり、比較をしやすくしたりしている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨観察・実験の結果を整理し、考</p>

	<p>察する学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察の視点が書かれている。関連付けられた結論・比較に基づく特徴・既習の内容との比較を用いた記述がされている。それに加え、事象を解釈した記述がされている。
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を提示して問題を見出させ、「見方のカギ」「考え方のカギ」を明記して、学習の見通しを持てるようにしている。「学習前」「学習後」の考えの変化に注目させることで学習内容の定着を目指している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入部分において既習事項を確認したり、上の学年にどのように繋がるか想起しやすいようにしたりしている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「学習の進め方」と「ノートのとおり方」を提示している。また、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」と題し、話型を例示している。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察ノートや、実験の記録の仕方の例を提示し、どのように整理していくか分かりやすいようにしている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察の視点が書かれている。予想を元に考察をする。関連付けられた結論・比較に基づく特徴・既習の内容との比較を用いた記述がされている。
啓林館	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「新しく学習した<u>ことば</u>」として、新しく学んだ概念を定着させる工夫がある。準備物の記載があり、番号と点線で手順を示し写真や図等を用いて説明している。初めて使う器具については同ページに記載している。安全に対して配慮が必要なところに「注意」「かん気」や「やけど」等のマークを付け赤文字で示している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入部分において既習事項の図や写真を明記し、既習事項から新たな課題を見出しやすくしている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらしとリンク」のコーナーで、現代的な課題に関わる内容及び発展的な内容を取り扱ったり、プログラミング学習の内容を扱ったりしている。

	<p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した大切なことを振り返る「まとめノート」を提示し、学習内容を振り返りやすいようにしている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫</p> <p>○巻末に話合いの留意点を示している。結果等をどのように表現するのか例示されている。單元ごとに「ふり返ろう まとめノート」があり、自分でまとめる際のヒントとなっている。また、「たしかめよう」では、学んだことを使って説明する学習がある。言語活動の中で、理科を楽しむ見方や理科の考え方を学ぶ工夫がある。</p>
--	---

※ 信州教育出版社については、審議対象外とする。

種目ごとの審議結果

【総合所見欄について】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	生活
-----	----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫</p> <p>○充実したスタートカリキュラムが設定されている。「保護者のみなさまへ」が各章にあり、保護者とともに学ぶ工夫がある。「やくそく」の欄きまりや安全について示している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥振り返り表現する活動の工夫</p> <p>○実物への紹介から、図やカードを使った発表へ発達段階を考えた多様な発表方法を紹介している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列及び分量</p> <p>○季節の生き物に関する単元は分量が多い。複数の生き物を取り上げており、学級や学校実態に応じた飼育活動に活用することができる。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>・「やくそく」の欄を設け、活動を通して身に付ける習慣や技能を示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定</p> <p>・単元末に伝え合う活動が設定され、体験活動と表現、交流する活動が一体的に扱われている。</p>
大日本	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫</p> <p>・「がくしゅうどうぐばこ」として、交通ルールやマナー、防災上の注意点が掲載されている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○スタートカリキュラムを意識し、幼稚園や保育園、こども園と生活</p>

	<p>を比較するページがある。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列及び分量</p> <p>○季節を意識させる単元配列と目次の工夫がされている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが多くあり、活動イメージや約束事を確認できる。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表方法について多様に紹介されている。
学 図	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③自分自身や自分の生活について考えるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下巻の両方に自分の成長を感じることができる単元がある。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥振り返り表現する活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを書いた時の気持ちを表現する場面や素材との対話の場面が設定されている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の掲載順が、学習する時系列順ではなく単元の内容ごとに構成されている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人のキャラクターとともに学習が進んでいく。単元ごとにメインキャラクターが設定されていて、気付きや疑問をつぶやいている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な発表方法が紹介されている。
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③自分自身や自分の生活について考えるための工夫</p> <p>○植物の成長などが比較しやすいように、年間の様子が掲載されている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥振り返り表現する活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりには、必ず振り返る手段が写真やイラストとともに提示してある。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列及び分量</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・(上) では就学前、(下) では中学年への接続を考慮した単元配列になっている。 (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ・学びを促すための動画が小見出しとともに提示されている。 (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定 ・相手に分かりやすく伝えるための具体的な姿（タブレットを使うなど）が写真やイラストで提示されている。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 ・季節ごとに分けて、植物や昆虫、木の実の写真があり、比べることができる。 (イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥振り返り表現する活動の工夫 ○写真や小見出しの言葉を効果的に配置し、導入、展開、振り返りまでを児童の思考に沿って示している。 (ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列及び分量 ・絵や写真、短い言葉で、架け橋期を支えるスタートカリキュラムや中学年への接続を意識した展開となっている。 (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ・マークで動画の種類が見分けられる。 (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定 ・まとめ方の紹介で、他社にはない写真のスライドショーが紹介されている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 ○「できるかな」「できたかな」を設け、育てたい資質・能力の具体的な姿を示すことで、児童の自己評価の観点を示しており、指導と評価の観点が明確になっている。 (イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥振り返り表現する活動の工夫 ○他教科で学んだことを生かしながら、表現活動や振り返りに取り組めるよう設定されている。

	<p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦単元や資料等の配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月頃までの入門期の単元の分量が多い。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>○見開き2ページの左上に、単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、表現活動の「ぐんぐん」の3段階で構成されており、児童が見通しをもって学びやすく、児童が自然に主体的・対話的で深い学びに展開するよう工夫されている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現活動が示され、そこで表現されたことを各単元末に伝え合う場を設けている。
--	--

※ 信州教育出版社については、審議対象外とする。

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	音 楽
-----	-----

発行者	総合的な所見
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <p>○器楽の指導事項がスモールステップで示され、階名ごとに写真で示されているなど、分かりやすく提示されている。鑑賞曲をQRコンテンツで付属するなど、興味関心を高める工夫もある。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の音楽文化に親しめるよう示されている。(第2学年～) <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <p>○日本古来の歌の学習と、世界の音楽の学習を比較しながら文化の固有性に気付けるように示されている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧【共通事項】の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」と表し、要素を表すいろいろな言葉も明記して示している。(全学年) <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じ方の違いを表現できるように、QR コードで開くと書き込めるように示されている。QRコンテンツが充実している。
教 芸	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <p>○歌詞の解釈と歌い方の工夫が明確に示されており、学習内容が分かりやすくまとめられている。何を学ぶのが明確にまとめられている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和音づくりをワークシートのスペースを取り、作成できるよう示されている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードを再生するとシンプルな音源を聞ける。リズムの記号で演奏できるよう示されている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧【共通事項】の指導を充実さ</p>

せる工夫

○音楽を形づくっている要素が振り返りのページにまとめて示されている。

(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫

・自分の感じ方や考え方等を深めていく場面が示されている。

種目ごとの審議結果

【総合所見欄について】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	図画工作
-----	------

発行者	総合的な所見
開隆堂	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○各題材の目標を、資質・能力を表す3種類のキャラクターと文章で示している。また、学習のめあてに対応し、どのような資質・能力を身に付けたか確認できるように問いかけることで、振り返りの視点を示している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○各題材名の上又は下に、活動のきっかけとなる文を示している。(UDフォントの使用により、支援を要する児童にも読みやすい書体となっている。) また、全ての題材でQRコードから、タブレット端末等で導入動画と作品例を視聴できるように示している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦題材や資料等の配列</p> <p>・全ての学年の項目において、題材を(造形遊び)(絵)(立体)(工作)(鑑賞)の5項目に分類して配列している。作品を作った後に、関連する鑑賞題材を配置している。また、就学前教育からの接続、中学校との接続やキャリア教育への対応を示している。配列題材(造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞)は「授業目標」と「表現内容(表現方法、題材、用具、対象等)」の二つの視点を系統的にバランスよく配置されており、用具や安全について分かりやすく示されている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧作品等についての示し方の工夫</p> <p>・作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、作者の考え・感想を示したりしている。また、QRコードから、様々な映像や写真等を見ることができ、作品の作り方や道具の使い方等、学習内容を確認したり、ワークシートを使って発想や構想を広げたり学習を振り返ったりしている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨表現及び鑑賞の活動における言</p>

	<p>語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定され、適宜話し合いの観点も提示しており、言語活動が充実する工夫をしている。また、各題材の左下に、「タブレットたんまつで見てみよう」というコーナーがあり、鑑賞カードや振り返りシート型の型を利用することができたり、作品を見たりすることができる。それを用いて言語活動が充実するよう工夫している。
日 文	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○資質・能力の3観点をアイコン化して学習のめあてを示している。また、それぞれの学習項目を細分化し、育てたい力をより明確に示している。思考力・判断力・表現力等においては、発想や構想等、表現のめあてと、鑑賞のめあてを示し、表現と鑑賞を往還しながら活動できるようにしている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。(ゴシック体を使用されている。) また、全ての題材でQRコードから、タブレット端末等で用具の使い方、作品例、仕組み等を視聴できるように示している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年の項目において、題材を(造形遊びをする活動)(絵に表す活動)(立体に表す活動)(工作に表す活動)(鑑賞する活動)の5項目に分類して配列している。鑑賞については、鑑賞のみの題材もあるが、基本的には全ての題材に鑑賞の活動を示している。また、1年生スタートカリキュラム(幼児期の遊びとの接続)を意識した題材や中学校への接続を意識した題材を設定している。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧作品等についての示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、作者の考え・感想を示したりしている。また、題材ごとのQRコンテンツは、導入と展開、振り返りのそれぞれの場面で使え、児童の好奇心をかきたて、深い学へとつなげている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定され、適宜話し合いの観点も提示しており、言語活

	<p>動が充実する工夫をしている。また、各上巻には特設ページを設定し、作品を見て感じたことや考えたことを友達と話し合う活動を示しており、言語活動の充実を促している。</p>
--	--

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	家庭
-----	----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①題材の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材で、学習の流れがステップ1からステップ3で示されている。それぞれにステップの学習の後、振り返りの問いかけがある。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④学習した内容を家庭や地域で実践するための記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年で学んだことを活かして実践していくことを狙いとしたページを設け、4つの視点で考えることを示し、どのように実践を進めていくかやり方を示している。また、夏休みわくわくチャレンジとして、学習したことを長期休業中に家庭で実践する場を設けている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材に、導入で活用できる「トライシート」が用意されている。導入段階での意見の可視化、整理を通して課題を発見させる。トライシートには、思考ツールが活用されている。<u>地域や家庭との関わりの中で、問題解決的な思考をする際に有効である。</u> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜の切り方について、写真、図、動画で示してある。実物大の写真がそれぞれの題材のページに示してある。右利き左利きの動画が、別々になっている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主に「活動 話し合おう」「活動 考えよう」「活動 調べよう」「活動 深めよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。言語活動が充実している。
開隆堂	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①題材の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材で、学習の流れがステップ1からステップ3で示されている。それぞれにステップの学習のあと、振り返りの問いかけがある。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤学習した内容を家庭や地域で実践するための記述</p>

- 学習の最後に「生かす・深める」があり、学習したことを生活に生かすための実践例がある。5年生で10回、6年で9回「生かす・深める」で実践例が確認できる。
- (ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥題材や資料等の配列**
- ・5年生は、スモールステップで反復学習ができるよう基礎・基本の定着を図る題材が設定されており、6年生は5年生の学習した技能を生かした題材が設定されている。
- (エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用**
- 野菜の切り方について、切り方の説明はそれぞれの題材のページに絵と動画で示してある。巻末で実物大の写真が掲載されている。右利き左利きの動画が、一つにまとめられている。実習の手順が横流れで示されている。
- (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫**
- ・主に「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	保 健
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③実習に関する記述</p> <p>○実習の例示が文章と絵で行われ、自分で記述・チェックする形である。手当ての方法を理由とともに記入させている。実験では、写真とともにやり方を説明している。これらによって基礎・基本の確実な定着が期待できる。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習の進め方や課題解決の過程が各単元の先頭ページ右上に示され、キーワードを書き込みながら児童が主体的に生活場面を振り返ることで、学習内容を生活にどのように生かしていくのか考えることができる。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦発展的な学習に関する内容の記述</p> <p>・単元の終わりに「資料」として学習を広げたり深めたりする内容が、単元の一部の終わりに「発展」として発展的な内容が掲載されている。QRコードから資料が確認できる。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用</p> <p>・ジェンダーに配慮したキャラクターを取り入れ、要所要所でQRコードを掲載し、動画やスライドを見て理解を深めたり、ワークシートや思考ツールを活用したりすることができるようになっている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫</p> <p>・自分の考えを書いたり、話し合ったりする「深める・伝える」場面と、授業で分かったことや気をつけていくことを記述する場面がある。</p>
大日本	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方</p> <p>・ストレッチの体験をすることにより、課題を見つける流れになっている。「ここで学ぶこと」を初めの方に示してから、「調べよう」に進んでいる。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫</p> <p>○導入で、自分の生活を振り返る活動が提示されており、単元全体の興味付けが期待できる。学習の進め方や課題解決の過程は、各ページの左端</p>

	<p>に示されていて、まとめ 生かそう 伝えよう」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦発展的な学習に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりに「もっと知りたい」として発展的な内容が、単元の一部に「発展」として発展的な内容が掲載されている。ワークシート形式で記入欄がある。QRコードからウェブサイトで資料が確認できる。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用</p> <p>○先生、ナビゲーター、児童のキャラクターを取り入れ、各単元の冒頭にQRコードを配置して関連する動画等をまとめて見ることができるようになっているとともに、児童の興味を引くようなQRコードも用意している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことと身の回りのことを関連付けてよりよく生活する方法を考えて記述する「活かそう」という場面が設定され、行動面で気をつけることを記述する欄と環境面で気をつけることを記述する欄がある。
大修館	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②体育・健康に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育の情報を、イラストと簡単な文章で記載し、バランスのよい食事を考える活動がある。運動の効果について、イラストや文章で説明し、運動や遊びの活動例を、多く記載している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元導入で、イラストをもとに1年生のころと5年生のころを比べる活動があり、単元導入で、イラストをもとに1年生のころと5年生のころを比べる活動がある。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元と学びを広げたり、深めたりする資料の場所が分かりやすく示されている。単元のはじめに有名な人のインタビューで興味・関心を持てるようにしている。それぞれの単元で「課題をつかもう」「話し合おう」「調べよう」「考えよう」の順番に提示され、必要な資料が記載されている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康に関する様々な職業に就く人々をキャラクターとして取り入れ、各単元末にクイズとしてQRコードを掲載し、所々に様々なコンテンツを見ることができるQRコードが用意されている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業によって異なる内容の「まとめ(生かそう・伝えよう)」という自

	<p>分の考えを記述する場面が設定され、授業のまとめでは、気をつけたい場所を記述する欄と、これから気をつけることを記述する欄がある。</p>
文教社	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②体育・健康に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> 育ちざかりに必要な栄養の情報は、イラスト、文章による説明となっている。情報量が多い。適度な運動と生活の中で続けられる運動の紹介と、体への良い影響について記載している。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元導入で数枚のイラストをもとに、成長の仕方が示されていて、「Mission もう一步先の自分へ」で実生活・実社会につなげて考えられるようになっている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに単元全体の学習課題が示されている。各単元の終わりに、単元の振り返りとして“わたしの〇〇宣言”が設定されている。小単元ごとに3つのMissionがある。Mission1,2の中に2つのStageがあり、それぞれに応じた資料が記載されている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や先生、仙人など多くのキャラクターを取り入れ、もっと知りたい情報のリンク先や著名人からのメッセージをQRコードで示している。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後どのようにしていきたいかを考えて記述する「もう一步先の自分へ」という場面があり、授業のまとめの場面もで、これから気をつけていきたいことを記述する欄があり、どちらにも記述例が示されている。
光文	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 4コマまんがを通して、課題を把握できるようになっている。資料を活用して振り返る活動をすることで、自然な課題設定がなされている。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方や課題解決の過程は、各学習場面の先頭が目立つように示され、振り返りは、児童が今後の自分の生き方を短い文章でまとめるとともに、その理由も記述するような仕組みになっている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑦発展的な学習に関する内容の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりに「さらに広げよう深めよう」として発展的な内容が、単元の一部に「発展」として発展的内容が掲載されている。QRコードから資料が確認できる。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童2人、先生2人と4人のキャラクターを取り入れ、学習に役立つウェブサイトに繋がぐためのQRコードが毎単元の冒頭と所々まとめに

	<p>配置されている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ内容と身の回りのことを関連付けて自分の意見を書く「学んだことを生かそう」という場面が設定され、行動面と環境面について記述してまとめる欄がある。
学 研	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ③実習に関する記述</p> <p>○文章を書き込ませる部分が多い。実習の例示が文章や絵で行われ、チェック欄もある。実習後の気付きや振り返りを、キーワードを使って自分の言葉で記述させることで、基礎・基本の定着を図ることができる。QRコードから実習の動画を確認できる。「科学の目」で、写真やイラストを使って実験が説明されている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方や課題解決の過程は、先頭ページの左上に時計のような形で示され、児童が今後実行したいことと学習の進め方に対する振り返りを、文章で記述するような仕組みになっている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥単元や資料等の配列</p> <p>○他社に比べて単元の目標の提示の仕方が詳しい。単元のはじめに、その単元で何を考えたり、話し合ったりしたらよいかを示されている。学習課題を持たせるような吹き出しが掲載されている。小単元の初めに「予想しよう」でイラストを提示し、「1資料を読み取る」「2原因を話し合う」「3学びを生かす」の3つの学習過程それぞれに応じた資料を記載している。不安や悩みへの対処の内容が充実している。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、担任、養護教諭のキャラクターを取り入れ、毎単元の終末部にシートが読み込めるQRコードが配置され、所々に様々なコンテンツを見ることができるQRコードが用意されている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れの中に、○○について話し合う場面が設定されている。授業のまとめの場面では、もっと学習したいことを記述する欄がある。

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	英 語
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得させたい表現につながるテーマの small talk が設定されている。音声による表現の習得から、文字による表現の習得につながる構成になっている。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④単元等における振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小単元ごとに振り返りができるようになっており、学期ごとにこれまでに学習したことを振り返る「Check Your Steps」が設定されている。できるようになったことをチェックできるよう、「My Picture Dictionary」に「CAN-DO の樹」がある。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥知識・技能の活用を促す配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動のテーマが自分自身のことから身の回りのことへと広がっていく流れになっている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○2年間で使う表現は「My Picture Dictionary」に別冊にまとめられている。巻末には学習で使うカードが付いている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨児童の身近な暮らしにかかわる場面設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「Enjoy Communication」では、単元で習得したことを活用する場面が設定され、学期ごとの「Check Your Steps」では、これまでに学習したことを活用する活動が設定されている。一部、誰になんのために伝えることなのかが分かりづらい単元がある。
開隆堂	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>○Let's play →Activityの順番で必要な表現を練習した後、伝え合う活動ができるようになっている。Let's play ではゲームで表現に慣れ、</p>

	<p>Activityでお互いに伝え合う活動が組み込まれている。単元に必要な語句や表現の練習を音声や映像を使って言語活動ができる構成になっている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○聞くこと話すことの言語活動の工夫が主体的に学習に取り組むことにつながっている。</p> <p>単元の導入において、会話場面や状況を明確に示している。聞き取りの視点も示されている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥知識・技能の活用を促す配列の工夫</p> <p>○児童自身が経験したこと等が少しずつ詳しく伝えられるように段階的に言語活動を導入し、最終的に児童が伝えたい事柄をスピーチできるようになっている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>・5、6年で使う表現がそれぞれ別冊「word book」にまとめられている。「word book」は、習得した表現を記入できる欄がある。巻末に学習に使うカードが付いている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>・Activity2のペアやグループでのやりとりの場面では、よい聞き手を育てるために、学習内容に合わせ、相手の話を聞いて「褒める」「質問する」「励ます」表現例を紹介するコーナーが設定されている。</p>
三省堂	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <p>○単元ごとにHOP→STEP→JUMPという流れになっており、単元のゴールに向けてスモールステップの学習活動になっている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④単元等における振り返りの工夫</p> <p>・単元末に「ふりかえり」として3段階で自己評価する欄があり、できたことや工夫したこと、友達の良さを記述できる。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元の構成・配列の工夫</p> <p>・各活動が4技能5領域のいずれに当たるかが明記されている。語句や表現をインプットしてから、聞く・話す活動中心の言語活動が設定されている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧巻末資料、付録等の工夫</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に学習に使うカードが付いている。小カードはレッスンのどの活動で使用するのかが分かりにくい。 (オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩対話的な学びを促す言語活動の工夫 ・Step-up や JUMP では、ペアワークやグループワークをしながら、自分の伝えたいことを伝える活動が設定されている。
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無理のない活動量になっている。聞く活動から発信する活動へと、スムーズステップで取り組む構成になっている。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○単元の導入において、会話場面や状況を示している。また、単元の初めにゴールが示され、「think」として、単元のゴールに話したいことを記述する欄がある。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥知識・技能の活用を促す配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身が経験した事柄や思いを伝え合う言語活動が仕組まれている。相手の考えを記述する欄がある。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用</p> <p>○5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。音声や動画等が視聴できるQRコードを、活動ごとに数か所示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨児童の身近な暮らしにかかわる場面設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末のFinal Activityにおいて、習得した知識及び技能を活用する「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動が設定されている。
光 村	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に目指す児童の姿が明確に記載されている。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、会話場面や状況を明確に示している。聞き取る観点も示されている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥知識・技能の活用を促す配列の工夫</p>

	<p>○少しずつ詳しく伝えられるように段階的に言語活動を導入し、最終的に児童が伝えたい事柄をスピーチできるように設定されている。スピーチを聞いている人が質問をする言語活動も設定されている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語はジャンルごとに色分けされている。6年生の Picture Dictionary には、5年生で記載のあった単語は記載されていない。2次元コードから確かめられるようになっている。5年生も、6年生のものを調べることができる。3・4年生で学習した単語には足跡マークが記載されている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨児童の身近な暮らしにかかわる場面設定の工夫</p> <p>○単元末の Jump!において、習得した知識技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。また、3回の「世界の友達」において、「聞くこと」「読むこと」の活動、「You can do it!」において、「話すこと」「書くこと」の活動を設定している。</p>
啓林館	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元が3ステップで構成されており、無理のない活動量になっている。 <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④単元等における振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に look back として、できるようになったことにチェックをしたり、実際に使える場面を考えたりする欄がある。大単元のごとに REVIEW として、これまでの学習を活かした言語活動と振り返る場が設定されている。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤単元の構成・配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各活動が4技能5領域のいずれに当たるかを明記している。聞く活動が多く配置されている。 <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の WordList に、イラスト付きで単語がまとめられている。主に関連する単元も記載されている。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Activity では、いっしょに調べたり、話し合ったりできる話題を取り上げ、ペアやグループの活動場面を多く設定している。

種目ごとの審議結果

【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	道 徳
発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②発問の工夫 ○教材文の終わりに、「考えよう」と「つながる、広がる」に分けて発問を記載している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・全ての学年で、「問題を見つけて考えよう」のページを設け、学習過程の例を示している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方 ・各学年でとびらページ・教材2つ・コラムで構成された「いじめユニット」を設けている。また、各学年で情報モラルに関する教材を設けている。SDGsに関する教材を高学年で取り扱っている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧教材の内容を理解させる工夫 ・QRコードは全教材文にある。教材文の後にもQRコードがついている教材がある。どの教材文にも3枚以上のイラストや写真が載せてある。自然関係のものには写真が使われている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨考えを伝え合う活動の工夫 ○巻頭の「どんな学びをするのかな」や「ちょっと話し合ってみよう」の中に、考えを伝え合う方法を示し、教材の終わりの「考えよう」の中に、対話するための問いの例示がある。</p>
教 出	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①道徳科の学び方等の示し方 ・道徳の学びへの意識を高めながら、見通しを持って学習に取り組めるように「学びのガイダンス」を設けている。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④体験的な学習を取り入れた工夫 ・全ての学年で、「やってみよう」のコーナーを設け、教材に関連した体験的な学習を通して考えることができるようにしている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥現代的な課題等を踏</p>

	<p>まえた内容の示し方</p> <p>○全学年で「いじめ」「情報モラル」を重点テーマとして、ユニットを設定している。また、SDGsに関する教材を用意している。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧教材の内容を理解させる工夫</p> <p>○QRコードはどの教材文にもある。後にもQRコードがある教材文がある。どの教材文にも2枚以上のイラストや写真が載せてある。動きや表情の分かるイラストが多い。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨考えを伝え合う活動の工夫</p> <p>・巻頭の「道徳ではこんな学び方をするよ」の中に活動のポイントを示し、教材の終わりの「考えよう 深めよう」の中に、対話するための問いの例示がある。</p>
光 村	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①道徳科の学び方等の示し方</p> <p>○児童がより主体的に道徳の学びに取り組めるよう、教材への向き合い方のヒントを示している。気持ちを表す言葉を例示したり、図を使って考えさせたりするなど、児童の主体的な道徳の学びを具体的に導き、児童の思考や表現を助ける工夫がある。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④体験的な学習を取り入れた工夫</p> <p>・全ての学年で「演じて考えよう」のページを設け、教材に関連した体験的な学習を通して考えることができるようにしている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <p>○2つの教材とコラムでユニット化した「いじめをゆるさない心」が設定され、ソーシャルスキルトレーニングの活動が設けられている。情報モラルは、教材とコラムをセットで学べる「情報と向き合う」を設けている。SDGsに関する教材は、6年間で17の目標全てに触れられるよう設定している。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑧教材の内容を理解させる工夫</p> <p>・柔らかいタッチの絵が使われている。比較的多く写真が使われている。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨考えを伝え合う活動の工夫</p> <p>○巻頭の「みんなで気持ちよく話し合うためのコツ」の中に、話し合いのポイントや例等を示している。教材の終わりの「考えよう・話し合おう」の中に、対話するための問いの例示がある。</p>
日 文	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②発問の工夫</p> <p>○冒頭で主題に関わる投げかけを行い、教材文の終わりの「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」という主題から思考が逸れることがない発問の示し方の工夫がある。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③問題解決的な学</p>

	<p>習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年で、「ぐっと深める」のページを設け、問題解決的な学習の手法を具体的に示している。 <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <p>○いじめを直接的、間接的に扱った教材とコラムを組み合わせ、「人としての関わりユニット」を設定しており、扱いが多面的である。また、コラム「心のベンチ」を設定し、情報モラルやSDGsについて学ぶことができるようになっている。多様な面から情報モラルを扱っている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次にユニットを設定し、学習のまとまりを示し続けて学習できるようにしている。3教材文連続のものもある。巻末に「内容項目」「教材名」「主題名」「テーマ」「他教科との関連」「作者・出典」を掲載している。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p> <p>○単元のまとまりごとの自分の考えをまとめる書き込み欄と、別冊の道徳ノートによって、自分の考えをまとめることができる。また、別冊の道徳ノートは、どの教室でも学びの質を保障するのに有効である。</p>
光 文	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ①道徳科の学び方等の示し方</p> <p>○児童が見通しを持って学び、間を見つけ、考えを深め、授業後へと広げていくという一連の流れを示している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ④体験的な学習を取り入れた工夫</p> <p>○全ての学年で、「みんなでやってみよう！」のページを設け、実際の問題場面を想定した体験的な学習を通して考えることができるようにしている。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤分量や教材の数</p> <p>○重要課題として「いじめ、命、学年独自主題」を掲げており、Dの教材が多い。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次にそれぞれの内容項目に従ってユニットが設定してあるが、何についてかまでは記載がない。巻末には「内容項目」「教材名」「現代的課題」「他教科」「関連性のある価値項目」が載せてある。 <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑨考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「話し合ってみよう」の中に、「ことばのカード（対話ツール）を例示して話合いの仕方を示し、教材の終わりの「考えようまとめよう ひろげよう」の中に、対話するための問いの例示がある。

<p>学 研</p>	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着 ②発問の工夫 ・教材文の終わりに「考えよう」として発問を記載している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ③問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・すべての学年で、「深めよう」のページを設け、学習過程の例を示している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量 ⑤分量や教材の数 ○「いのち」を最重要テーマとして、内容項目「生命の尊さ」の教材を全学年で3本掲載している。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記 ⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫 ・目次にユニットが作ってある。他社に比べてユニット数が少ない。巻末に「内容項目」「教材」「主題名」「デジタルコンテンツ」が載せてある。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実 ⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫 ・学習のまとめりごとに、自分の考えをまとめる欄があり、巻末に、「つなげよう ひろげよう」として、1年間の学習を振り返るページを設けている。</p>
------------	--